

△附属機関の開催状況について

◆（加納委員） 附属機関の開催状況を、このフォーマットでどこの局も報告いただきますが、今の河治委員のような形で御質問したり、意見を申し上げたり、それを受けて、きょういらっしゃる局、副市長から御答弁いただいている。その御答弁の中には、今後質問いただいたことについては推し進めてまいりますとか、委員の意見に従ってお答えいただいています。それは今後、附属機関にどのように反映されて、議会にどのように見える化される形になるのか、いかがでしょうか。

◎（渡辺副市長） 基本的には毎年度秋以降の予算編成におきまして、もちろん各会派の代表の方から予算編成に関する要望も頂戴いたしますけれども、1年間あるいはそれ以前からのさまざまな常任委員会、本会議、特別委員会などでの市会の議員の皆様方からの御意見を、どの局も必ず体系的に整理いたしまして、予算に反映しなければいけないもの、できるだけ反映するものなど整理して、予算の新規施策の立案や事業の拡充などに生かしているというのが実際の現場の状況でございます。

◆（加納委員） きょうのような最終委員会で開催状況の報告があり、幾つかの議論がされたものも、平成28年度のさまざまな予算、事業、附属機関のさまざまな企画運営、事業推進に生かされるということですが、我々が見える化としては、どこをどう見たらいいか、事業に反映されていますよということで御理解いただくということですか。

◎（渡辺副市長） さまざまな常任委員会などでいただいた御意見を、どのように私どもとして予算に生かしたか、執行に生かしたかという報告書のようなスタイルのシステムができておりません。その点は現状では不十分なのかもしれませんが、機会あるごとに予算の御説明あるいは日常的な新規事業等の御説明の際にいただいた御意見を踏まえてということをお説明しながら、御理解いただくようには努めております。今後、さらにもう少し見える化をどのようにしたら御理解いただきやすいかについては研究していきたいと思っています。

◆（加納委員） したがって、きょうは各附属機関の名称、会議開催日、会議議題という形でお示しいただいていますが、そういったところにも何らかの工夫をしてみると、今の議論がもう少し具体的に見える形で進んでいただいたということがわかると思うので、副市長は研究と言いましたから、検討ぐらいで前に進めていただければと要望いたします。